

東大阪市民会議開催実績

回	日時・場所	テーマと主な内容	「提言」の特徴と市民運動による実現等
1	昭和 50.11.8(日) 八戸の里小学校	(テーマ)健康な市民と美しいまちづくり 第 1 分科会「緑のまちづくり」、第 2 分科会「市民生活とゴミ」、第 3 分科会「老人の健康と生きがい」、第 4 分科会「子どもの健康と安全」、第 5 分科会「市民の体力づくり」の 5 分科会。5 つの行動宣言。463 人(内来賓等 94 人)参加。	「緑化意識の高揚をはかるため、市の木、市の花の制定を」の提案発言があり、翌年に選定委員会が発足。昭和 52 年 2 月に市の木「クスノキ」、市の花「ウメ」、市民の花「キキョウ」を制定。
2	昭和 51.7.18(日) 東体育館	(テーマ)健康な市民と美しいまちづくりの実践を考える 中川喜代子助教授(奈良教育大)の講演。3 名の実践報告の後、フリー討論。369 人参加。	昭和 51 年 11 月には「東大阪市を緑にする市民の会」が発足。
3	昭和 52.2.19(日) 市民会館	(テーマ)市民が考えるあすのまちづくり (サブテーマ)快適なまちづくり 環境と将来像の 2 分科会で 192 人参加。	都「みんなの力で市民がふれあう祭りをしよう」の一青年の発言が、翌年に第 1 回ふれあい祭りが開催。
	昭和 52.4.23(土) 市民会館	(サブテーマ)幸せなまちづくり 福祉、健康、安全の 3 分科会で 96 人参加。	
	昭和 52.6.5(日) 市民会館	(サブテーマ)文化香るまちづくり 教育と地域社会の 2 分科会で 239 人参加。	
4	昭和 53.7.16(日) 市民会館	(テーマ)子どもたちの世界を見なおす市民会議 教育と生活の 2 分科会で 318 人参加。	
5	昭和 54.2.25(日) 市民会館 文化会館 青少年婦人センター 東公民館	(テーマ)市民と野外活動 4 会場で「青少年の野外活動及び野外活動センターのあり方」を討論。620 人参加。	「市民会議」「緑にする市民の会」「ふれあい祭り実行委員会」の 3 団体が、昭和 54 年にコミュニティ紙「市民と緑とふれあいと」を発行。
6	昭和 54.11.11(日) 八戸の里小学校	(テーマ)みんなが省エネルギー・省資源を 府立大学の谷山新良教授の講演等。市民 250 人とその他 65 人参加。	「毎月第 2 日曜をノーマイカーデーに」と提言。
7	昭和 55.11.30(日) 大阪商業大学	(テーマ)みんなで生涯教育を考えよう 市教育委員会の山川一郎参事の講演と、家庭、職場、地域社会の 3 分科会。242 人、その他 52 人参加。	
こ ど も 市 民 会 議	昭和 55.5.25(日) 岩田西小学校	(テーマ)みんなで考えよう (サブテーマ)ものの大切さ 小学生 117 人中学生 45 人その他 120 人参加。	
	昭和 56.9.20(日) 花園小学校	(テーマ)私達の遊びを考えよう 5 つの分散会と全体会。小学生 117 人、中学生 27 人、その他 105 人参加。	昭和 56 年 4 月に市民 13 団体からの編集委員で「東大阪コミュニティニュースの会」が発足し「ふれあい東大阪」を年 4 回発行でスタート。
	昭和 58.2.11(日) 菱屋西小学校	(テーマ)おとなにいいたいこと 小学生 65 人、中学生 1 人、その他 12 人参加。	

回	日時・場所	テーマと主な内容	「提言」の特徴と市民運動による実現等
地域市民会議	昭和 56.11.21(土) 縄手小学校	(対象)縄手・上四条 太鼓台保存会のあり方、会館使用のあり方、子ども育成活動、まちの美化の 4 分科会。150 人参加。	
	昭和 56.11.29(日) 成和小学校 北部出張所 老人センター	(対象)成和、鴻池東 青少年の健全育成、地域の行事、美化運動の 3 分科会。 154 人参加。	
	昭和 56.12.3(木) 菱屋西小学校	(対象)菱屋西 青少年の健全育成、各種団体の連携の 2 分科会。105 人参加。	
	昭和 56.12.6(日) 意岐部公民館	(対象)意岐部 地域環境の美化、青少年の健全育成、地域行事の 3 分科会。 92 人参加。	
	昭和 58.2.26(土) 英田公民分館	(対象)英田南 青少年の健全育成、各種団体の連携、まちの美化の 3 分科会。110 人参加。	
	昭和 58.9.4(日) 菱屋西小学校	(対象)菱屋西 老人と地域社会の関わりを考えよう。80 人参加。	
	昭和 58.11.25(金) 四条会館	(対象)四条 駐輪指導の問題について。60 人参加。	
	昭和 59.2.23(木) 四条会館	(対象)四条 青少年への地区組織の確立、青少年対策のあり方の 2 分科会。56 人参加。	
8	昭和 59.2.26(日) 市民会館	(テーマ)いま何ができるか！青少年を育てる輪をひろげよう 地域の役割、家庭の役割の 2 分科会。111 人参加。	ボランティア活動と人材登録制の設置、心身障害児(者)への活動機会の拡大などを提言。
9	昭和 59.12.2(日) 花園北小学校	(テーマ)団体相互の理解と連携を深めよう (サブテーマ)市民活動の発展を願って。 51 団体参加、153 名参加。	
10	昭和 60.9.29(日) 市民会館	(テーマ)団体相互の理解と連携を深めよう 生活環境、文化、スポーツの 3 分科会。25 団体参加、75 名参加。	
11	昭和 61.3.2(日) 市民会館	(テーマ)団体相互の理解と連携を深めよう 3 分科会のテーマも同じ。25 団体参加、75 名参加。	
12	昭和 62.9.27(日) 八戸ノ里小学校	(テーマ)あすのまちづくりへの提言 京大の三村浩史教授の基調講演と、緑化と美化、公共施設のあり方、顔づくり、青少年の健全育成の 4 分科会。 200 人参加。	「市民が共感できる『東大阪の顔』づくり」の提案が、昭和 62 年 12 月に公募とプランニング委員で構成された「顔づくり委員会」が発足。市総合計画新基本計画に反映するよう昭和 63 年 10 月に提言。

回	日時・場所	テーマと主な内容	「提言」の特徴と市民運動による実現等
13	平成元年.9.10(日) 市民会館	(テーマ)あなたもわたしもボランティア 聖カタリナ大の岡本栄一教授の基調講演。学校、地域、福祉の3分科会。180人参加。	
14	平成2.9.9(日) 大阪商業大学	(テーマ)地球は住めない星になる (サブテーマ)私です破壊するのも守るのも 大阪大盛岡通助教授の基調講演、3分散会。161人参加。	ごみ問題、水問題、緑化、啓発の4つを柱に提言。
15	平成3.9.8(日) 文化会館	(テーマ)私は地球を守ります (サブテーマ)ごみはどこまで減らせるか 3分散会の助言者は、本多淳裕(元大阪市大工学部授)、植田和弘(京都大経済学部助教授)、楨村久子(奈良文化女子短大講師)。273人参加。	ごみ減量運動の全市的な組織の設置と実行体制を提言。平成4年1月に環境事業部が事務局となって「市民ごみ減量推進委員会」が発足。
16	平成4.9.20(日) 文化会館	(テーマ)あなたも私も生きがいづくり 朝日放送アナウンサー道上洋三氏の基調講演。健康で豊かな生涯(川西主)、いきいき暮らせるまちづくり(大内祥子(財)大阪青少年活動振興協会文化研究室長)、人間性豊かな青少年に(西田清照府中央児童相談所主査)の3分科会。262人参加。	人材バンクの設立とボランティア活動の振興、施設利用の規制の見直し、高齢者の健康維持などを提言。
17	平成5.8.22(日) 市民会館	(テーマ)育てよう 広げよう 市民の文化 関大の大西正曹教授の基調講演。コミュニティ施設(後藤寿地域振興室次長)、生活環境(川西主代表幹事)、人間性豊かな青少年を(川澄文孝文化国際課長)の3分科会。207人参加。	リージョンセンターを核としてボランティア活動の場づくり、ごみ減量の徹底、国際交流センターの設置などを提言。
18	平成6.11.27(日) 市民会館	(テーマ)これからの家族と社会 (サブテーマ)家族の和から地域の輪 細見三英子産経新聞文化部部次長の基調講演。家族と高齢者、家族と子ども、家族と地域の3分科会。269人参加。	高齢者を支え、子どもの手本となる大人社会、ふれあい豊かな地域の3つを柱に、それらを支える地域社会のネットワークづくりを提言。
19	平成7.9.3(日) 市民会館	(テーマ)災害は忘れなくてもやってくる (サブテーマ)考えよう かけがいのない生命のために NHK記者の松見正宣キャップの基調講演。3分散会。192人参加。	市民一人ひとりが危機管理意識をもとう、近隣との緊密な組織づくり、行政はわかりやすい防災計画等を提言。
20	平成8.12.1(日) 市民会館	(テーマ)21世紀はどんなまち？東大阪市も変わらなきゃ プランニング委員が取材したビデオやスライドで問題提起。放置自転車、不法看板類、ポイ捨ての3分散会。154人参加。	市民・事業者・行政の義務と行動を明記した「環境美化に関する条例」の制定を求める提言。
21	平成9.9.7(日) 市民会館	(テーマ)どうする・どうなる・2020年 (サブテーマ)ひとごとでない 私の老後 あなたの老後 桃山学院大の上野谷加代子教授の問題提起。どう生きるか、行政への望み、地域で支えあうの3分科会。154人参加。	東大阪市を福祉産業(ソフトもハードも)のまちに、を柱にした提言。

回	日時・場所	テーマと主な内容	「提言」の特徴と市民運動による実現等
22	平成 10.11.8(日) 市民会館	(テーマ)子どもたちに 緑ゆたかな地球を (サブテーマ)未来と地球 子どもたちのために 私たち市民はなにができるか グローバル環境文化研究所の岡靖敏代表理事の基調講演。 地球温暖化、オゾン層破壊、ダイオキシン問題等で5人によるパネルディスカッション。350人参加	平成 10、11 年に「環境問題」をテーマに 2 回にわたる討論で、ネットワークづくりの必要性が強調され、平成 13 年 7 月に「東大阪市民環境ネットワーク」が結成された。
23	平成 11.9.5(日) ユトリート東大阪	(テーマ)子どもたちに 緑ゆたかな地球をⅡ 前回と同じ岡代表理事が問題提起。地球温暖化、オゾン層破壊、水と緑の保全、環境守る市民ネットワークで6人によるパネルディスカッション。329人参加。	「環境文化都市東大阪」をめざして、資源循環型の産業経済活動の推進。 ISO14000 シリーズ(環境 ISO)認証取得に取り組もう等を提言。
24	平成 12.10.29(日) 市民会館	(テーマ)21 世紀 夢づくり まちづくり 近大の久隆浩助教授の基調講演。手をつなぎ心をつなぎまちづくり(久隆浩助教授)、美しい緑・水・空気を未来のこども達へ(阿蘇紀夫市民環境会議会長)、企業・行政生かそう未来へ市民とともに(川西主代表幹事)の3分科会。 162人参加。	コミュニティの促進と市民参画によるまちづくり、人間性ゆたかな健康で生きがいのもてるまちづくり等を提言。
25	平成 13.9.16(日) 市民会館	(テーマ)安全で 安心して くらせるまちづくり (サブテーマ)考えよう 命の大切さ 川西代表幹事が問題提起。3つの分散会。205人参加。	心のかよう「声かけ」運動、危険箇所のマップづくり、子どもらに自然や社会の体験の場づくり等を提言。
26	平成 14.11.17(日) 市民会館	(テーマ)みんなで語ろう 教育を (サブテーマ)地域・家庭・学校からいま子どもと共にできること 川西代表幹事が問題提起。4つの分散会。329人参加。	「市に教育審議会」の設置を提言。平成 15 年に議事内容の公開を前提とした7人の委員で「市教育懇談会」が発足した。
27	平成 15.9.23(火祝) 市民会館	(テーマ)どうする どうなる これでいいのか 食と生活 大阪の食文化研究会の高橋恭子代表の基調講演。3つの分散会。220人参加。	せめて週1回は家族そろっての家庭料理、「もったいない」等の合言葉を広めよう、どんな狭い所でも家庭菜園を、コメの良さを広げよう等を提言。
28	平成 16.10.11(月祝) 市民会館	(テーマ)こうしょう 食と生活 (サブテーマ)食の安全と健康は 地域のネットワークづくりから 大阪の食文化研究会の藤元百代事務局長の基調講演。3つの分散会。130人参加。	食の安全と安心、地産地消の促進のため、生産者と消費者が手をむすぶ「地域ネットワーク」(仮称「市民の会」)をつくろうと提言。
29	平成 17.9.23(金祝) 市民会館	(テーマ)和と輪のまちづくり 世代間交流をつうじて 安全とおもいやりのまち(中川幾郎教授帝塚山大学大学院)、対話と連携によって地域協働をすすめるまち(久隆浩近畿大学、地域資源を活かした人づくりモノづくりまちづくり(湖中齊教授大阪商業大学)3つの分科会。200人超す参加。	安全と思いやりのまちづくりをテーマに声かけ運動などコミュニティの醸成、地域協働のまちづくりをテーマに市民参加・参画の推進、地域資源を活かしたまちづくりをテーマに産業・文化などの資源活用について提言。

回	日時・場所	テーマと主な内容	「提言」の特徴と市民運動による実現等
30	平成 18.10.9(月祝) 市民会館	(テーマ)生命(いのち)を大切に・地域で考えよう～こんな時代 どないしたらええねん 第 1 分科会「こころふれあう暮らしづくり」 講師：久隆浩(近畿大学) 第 2 分科会「安全なまちづくり」 講師：中川幾郎教授(帝塚山大学大学院) 第 3 分科会「からだところの健康・生きがいづくり」 講師：廣井亮一教授(京都女子大学) 190 人参加。	市民生活の基本は「安全安心のまちづくり」であることから、市民自らが自分たちの安全を守るための 3 点を提言。 行政には住みよいまちづくりに期待して 5 点の施策展開を提言。
31	平成 19.10.8(月祝) 市民会館	(テーマ)「もったいない」の視点で市民が考える。 第 1 分科会「交通・環境マナーを市民が考える」 第 2 分科会「学校と家庭の役割を市民が考える」 第 3 分科会「行政と生活のムダを市民が考える」 134 人参加。	自転車優先の交通安全都市の構築 6 件 地域環境・地球環境の改善 6 件 学校・家庭・地域の役割分担 4 件 行政も「もったいない」の視点に立って 3 件 市民にやさしいまちに向けて 3 件
32	平成 20.10.5(日) 市民会館	(テーマ) 51 万全市民が考える安心・安全な都市づくり 第 1 分科会「もう一度 防災と地域の安全を考える」 第 2 分科会「もう一步 交通マナーと安全を考える」 第 3 分科会『もう一回 食料自給と食の安全を考える』 159 人参加	「毎月 8 日を自転車マナーデー」として位置付けた。
33	平成 22.6.5(土) 市民会館	(テーマ)今できること「未来を託す子どものために」 第 1 分科会「子どものために緑を考える」 第 2 分科会「地域で子育て支援を考える」 第 3 分科会「子どもと高齢者との関わりを考える」 188 人参加	提言フォロー部会を開催し、行政と協議を重ねた上、市長へ最終報告書を提出した。
34	平成 24.6.9(土) 市民会館	(テーマ)自然災害や犯罪に備え「市民が考える防災・防犯について」 第 1 分科会「地震と津波について」 第 2 分科会「台風と洪水について」 第 3 分科会「防犯と事件について」 154 人参加	今日的な課題である防災ならびに防犯について、避難指定場所の適正化や防災マップ・洪水ハザードマップの見直し及びひったくり防止カバーの着用、防犯灯の LED 化、防犯カメラ設置の推進等の提言。
35	平成 26.6.14(土) 市民会館	(テーマ)交通マナー日本一をめざそう 今年度はテーマを一つに絞り三つの分散会に分かれて参加者の意見を求めた。90 人参加。	自転車のモラル・マナー向上を盛り込んだ条例の制定、学校・教育・地域での交通ルールの指導の徹底、市民の皆様へは「自分の身は自分で守ろう」、警察や自転車販売店等に対しても交通マナー向上やルールの周知の徹底等を提言。

回	日時・場所	テーマと主な内容	「提言」の特徴と市民運動による実現等
36	平成 28.7.31(日) 若江岩田駅前 市民プラザ	(テーマ)日本一美しいまち東大阪 今年度はテーマを一つに絞り三つの分科会に分かれて参加者の意見を求めた。100 人参加 第 1 分科会「めざせポイすてゼロのまち」 第 2 分科会「人にやさしいおもてなしのまち」 第 3 分科会「花と緑あふれるまち」	行政・学校、地域・警察・市民に向けて、 2019 年ラグビーワールドカップを見据え、訪れる人々に東大阪市をアピールできるように、言語ボランティアの育成や研修・観光 PR 拠点の建設・清潔、安全な公衆トイレの普及等を提言。
37	平成 30.7.28(土) 若江岩田駅前 市民プラザ	(テーマ)日本一美しいまち東大阪 Part II 今年度はテーマを一つに絞り三つの分科会に分かれて参加者の意見を求めた。80 人参加。 第 1 分科会「やすらぎ・憩いが整備されたまちにするために」 第 2 分科会「ポイ捨て・不法投棄ゼロのまちにするために」 第 3 分科会「心やさしくおもてなしのまちにするために」	行政、学校、地域・警察・市民に対して、 ラグビーワールドカップを契機として、「日本一美しいまち東大阪」の実現に向けて、プラスチック製品ごみの回収の徹底と減量・不法投棄監視カメラの増設・環境教育の充実・マイバック、マイボトルの使用等を提言。
38	令和 4.7.30(土) 東大阪商工会議所	(テーマ)人生 100 年時代に向けてみんなで持続可能な取り組みを 62 名参加。 第 1 分科会「みんながいきいきと生活できるしくみづくり」 第 2 分科会「地域力を高めて住民同士が災害に強いしくみづくり」 第 3 分科会「健康寿命を伸ばせるための予防・相談・指導のしくみづくり」	行政、学校、地域、警察、市民に対して、 人生 100 年時代に向けて、子育て及び介護の包括的支援、自転車マナーアップキャンペーンの推進、災害に備えた対策等を提言。
39	令和 6.7.27(土) 若江岩田駅前 市民プラザ	(テーマ)めざそう交通事故ゼロのまち 日本一安全・安心な東大阪へ 57 名参加。	行政、学校、警察、企業、市民に対して、 「交通事故ゼロのまち東大阪」に向けて、自転車乗車時のヘルメット着用の促進、交通安全講習の実施、「ながら運転」の抑制など、事故防止対策や交通安全意識の向上に関する事項を提言。